

●プロジェクト申請の概要

新潟県カーボンオフセットパビリオンチーム

1. プロジェクト名

「南魚沼銘水の森」間伐プロジェクト

2. プロジェクトの種類（期間）

間伐促進型プロジェクト（2008年4月1日～2013年3月31日）

3. 申請者

プロジェクト代表事業者：南魚沼市

（プロジェクトの総括、森林施業）

プロジェクト参加者：南魚沼森林組合

（モニタリング実施）

：ウッドペレット株式会社

（間伐材の利活用）

4. プロジェクトの目的と内容

「南魚沼銘水の森」間伐プロジェクトは、間伐の実施により二酸化炭素吸収量を増加させ、地球温暖化の防止を図ります。また、発行された新潟県J-VERの販売により得られる資金を森林整備に活用し、水源かん養等の森林の持つ公益的機能を維持するとともに、「南魚沼産コシヒカリ」の生産や「新潟の酒」造りなどの地域産業の重要な基盤となっている「水」を守る森づくりの推進を目的としています。

さらに、これまで、用材として利用できず、施業地に放置されていた間伐材をペレット等に加工し、公共施設での暖房や温泉加温ボイラー燃料として活用し、利用の促進を図ります。

5. プロジェクト実施地の状況

- ・場 所…新潟県南魚沼市（「塩沢第3団地」森林施業計画の区域）
- ・間伐面積…82.27 ha

○年度別実施計画

（単位：ha, t-CO2）

年 度	2007	2008	2009	2010	2011	2012	合計
間伐面積	0	0	20.91	38.11	23.25	0	82.27
	-	(0)	(20.91)	(59.02)	(82.27)	(82.27)	-
CO2吸収量	-	0	187	492	690	683	2,052

※間伐面積下段括弧書＝累積面積

- ・プロジェクト実施地の状況（ベースラインシナリオ）
- …プロジェクト対象森林内のスギ人工林は、現時点で過密状態、若しくは今後において過密状態となるため、適切に間伐を行うことが必要な状況にある。

6. プロジェクトの実施方法（間伐作業の基準と実施方法）

(1) 間伐作業の基準

間伐作業は、下記の「間伐の標準的な基準」に基づいて実施します。

間伐の標準的な基準

項目	方法・基準
伐採率	30%程度
方法	定量間伐
間伐実施間隔	5～15年
仕立て	長伐期（大径材）

※ 上記を標準とし、林の状態や立地環境により実施で微修正する。

(2) 間伐作業の実施方法

間伐作業は、以下の「間伐作業の流れ」のとおり実施します。

間伐は主として「保育間伐」を実施していますが、一部では間伐材を木質ペレット等などに加工、利用する「利用間伐」も実施しています。

※ 今後は、バイオマスタウン構想を着実に実施し、木質ペレット等の加工により利用間伐を推進します。

間伐作業の流れ

